

「上本部小学校」の変遷

本部町 定例 教育委員会 議案 第22号「学校統合について」（昭和53年12月9日）により、旧上本部三小学校（謝花・豊川・新里）を、昭和55年4月1日に統合することを決定した。

統合小学校施設充実促進期成会（会長：謝花喜秀 氏）を設立（昭和54年4月19日）し、本部町広報による学校名の募集を行った結果、「上本部小学校」を採用とした。当時、豊川小5年生の山内暁子さんの作品である。

昭和55年1月1日「本部町立上本部小学校」の設置が認可され（**創立記念日**）、初代校長には、與那嶺清吉 氏（豊川小学校長兼務）と、教諭 上間一弘 氏で、開校の準備に当たっている。そして、昭和55年4月1日 開校式典、校旗樹立式（児童253名、小職員17名、幼職員2名）で上本部小学校がスタート（**開校記念日**）した。

創設当初から、謝花小学校・豊川小学校・新里小学校の素晴らしい歴史と伝統、校風がしっかり受け継がれ、校区に一校と云うことで、保護者・地域の方々には、それぞれの母校としての愛着と学校環境への深い関心があり、PTA活動や学校行事、環境美化整備などに対しても、とても協力的であった。創設からの10年の間には、教育環境の充実へ向けて、庭園造りや芝植え、木々の移植、校地整備、プールや新校舎建築等の整備にも努めてきた。

平成最後の年である今年度で、本校も創立39年を数えた。平成19年度から町内中学校の整備計画により、本部中学校への上本部中学校の統合案も一時検討された経緯があるが、平成28年度に小中一貫教育校の開校へ向けての取り組みが進められてきた。

2019年度、上本部小学校は創立40年の節目で幕を閉じ、2020年度からは、上本部小学校と上本部中学校とで「**小中一貫教育校**」（**上本部学園**）としてスタートすることになる。

「人間力の育成」を中核に据え、「ふるさと教育」や「実践的な英語教育」など、幼稚園・小学校・中学校の10カ年を通して、～『武本部』の精神で 未来を担い、明日を 切り拓く人づくり～ を、より一層目指していくこととなる。

今後とも、「上本部小学校」を、そして「小中一貫教育校」を地域の学校として、参加・協力とご指導・ご鞭撻を ますますよろしくお願い申し上げます。



平成31年 1月11日

本部町立上本部小学校
校長 上間 忠彦
(第15代 校長)

